

学校番号	406
------	-----

## 令和３年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「音楽Ⅱ Tutti 改訂版」(教出)						
副教材等	なし						

### 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・「歌唱」「楽器演奏」の分野で学習します。
- ・学習の到達度は、授業での観察や実技テストで評価します。
- ・実際に声を出し、楽器を演奏することを経験し、感性を豊かにしていきましょう。
- ・音楽の様々な活動を通じて、音楽に親しみ音楽を愛する精神をはぐくみましょう。音楽に対する感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めましょう

### 2 学習の到達目標

グループの中で自分のパートを責任を持って演奏する。  
リコーダーおよびボーカルアンサンブルに取り組ませる。メンバー、パートを決めさせ、発表に向けてのグループ練習を自分たちで運営していくことにより社会性・協調性などの適応能力を獲得する。

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:音楽への関心・意 欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 実技テスト	演奏の聴取 提出作品 実技テスト	観察 ワークシート

以上の観点から学期ごとに100点法で成績をつけ、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

学 期	題 材 名	学 習 内 容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	器 楽 演 奏	【器楽】 リコーダー アンサンブル	○	○	○		a グループで合奏曲を完成させる b グループで協力し合えるか。 c 強弱・発想記号を工夫できているか	観察 演奏の聴取 実技テスト
		【歌唱】 日本語による 斉唱	○		○		A 時代背景を理解できているか c 表現方法が工夫されているか。	観察 歌唱の聴取
	歌 唱	【歌唱】 イタリア語曲の 歌唱		○			b 原語で暗譜できるか。 正しいリズム、歌詞で歌えているか。	観察 実技テスト 歌唱の聴取
2 学 期	歌 唱	【歌唱】 英語曲の歌 唱①	○	○	○		a 原語で暗譜できているか。 bc 正しいリズム、歌詞で歌えているか。	観察 実技テスト 歌唱の聴取
		【歌唱】 英語曲の歌 唱②	○	○	○		a 原語で暗譜できているか。 bc 正しいリズム、歌詞で歌えるか。	観察 歌唱の聴取
	器 楽 演 奏	【器楽】 リコーダーの独 奏	○			○	a プレス、フレー징の工夫がされているか。 d クラシックの名曲をアルトリコーダーで演奏させる。	観察 実技テスト
3 学 期	器 楽・ 歌 唱	【歌唱】 ソロ、アンサン ブル、合唱を 含む楽曲	○	○	○		a パートを決める 課題に積極的に取り組んでいるか。 自分のパートを正しく演奏できているか。 b 全体の中でバランスよく演奏できているか。 c 基本的なレコーディングの方法を体験する。	観察 演奏の聴取 実技テスト

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度      b:音楽表現の創意工夫  
c:音楽表現の技能      d:鑑賞の能力